

生徒質問紙

中学校調査

○ 全国と比較して、5.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(24)	読書は好きですか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	38.1	30.3	7.8

○ 全国と比較して、3.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	75.5	71.3	4.2
(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	26.1	22.4	3.7
(38)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	37.3	33.8	3.5

○ 全国と比較して、3.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(1)	朝食を毎日食べていますか	「している」と回答した生徒の割合	75.3	78.7	-3.4
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	「している」と回答した生徒の割合	50.5	54.7	-4.2
(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した生徒の割合	56.8	61.6	-4.8
(46)	国語の授業の内容はよく分かりますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	21.3	25.4	-4.1

○ 全国と比較して、5.0ポイントより下回る設問（主な設問）

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(19)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した生徒の割合	47.8	57.9	-10.1
(29-4)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	26.1	31.8	-5.7
(32)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	17.3	23.4	-6.1
(69)	理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	18.6	26.3	-7.7

○ 考察と今後の方向性について

設問番号	考察と今後の方向性
(11)	「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いに、「当てはまる」と答えた生徒は、本市75.5%（全国71.3%、愛媛県73.8%）と高い数値を示しています。今後も、学校における道徳教育をはじめとした様々な教育活動や、今治市独自の事業である今治モデル『ふるさとキャリア教育』を通して、自分の役割を果たしつつ、他者と協力・協働する力を育成していきたいと考えています。
(24)	「読書は好きですか」の問いに、「当てはまる」と答えた生徒は、本市38.1%（全国30.3%、愛媛県34.9%）と高い数値を示しています。学校においては、朝読書の時間を確保するなど、各校の実情に応じて、工夫をして取り組んでおります。今後も、委員会活動を活性化させる等、校内での啓発活動を推進するとともに、家庭での読書週間づくりに関しても保護者と連携して働き掛け、読書への関心をさらに高めるだけでなく、言語力や思考力の向上にもつなげていきたいと考えています。
(1)(3)	「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の問いに、「している」と答えた児童は、本市75.3%（全国78.7%、愛媛県76.1%）、本市50.5%（全国54.7%、愛媛県52.6%）と低い数値を示しています。基本的な生活習慣の定着は、本市の課題の一つであり、中学校において「している」と答えた児童の割合は、令和3年度（78.8%、56.1%）→令和7年度（75.3%、50.5%）と減少しております。朝の会や帰りの会、保健体育課の保健分野の授業において継続して指導していますが、十分な定着には至っていません。今後、家庭の理解と協力を得ながら、基本的な生活習慣の定着を目指していく必要があると考えています。
(17)(19)(32)	「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強していますか」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の問いに、「1時間以上している」と答えた生徒は、本市56.8%、（全国61.6%、愛媛県56.3%）、本市47.8%、（全国57.9%、愛媛県54.2%）と低い数値を示しています。家庭学習の定着については、本市の課題の一つであり、中学校において「1時間以上している」と答えた児童の割合は、令和3年度（71.8%、11.6%）→令和7年度（56.8%、9.4%）と、減少しております。各学校でも、「家庭学習の手引き」を作成したり、家庭学習時間調査を行ったりするなど、各学校で学校の実情に応じた取組で各家庭への啓発を行っているところです。また、「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の問いに「当てはまる」と答えた生徒は、本市17.3%、（全国23.4%、愛媛県19.3%）と低い数値を示しています。「自分で考え、自分から取り組む」という姿勢は、授業だけでなく家庭での学習においても重要になることです。今後は、生徒が「なぜ学ぶのか」「どう学ぶのか」を意識できるような授業づくりを推進していきたいと考えています。

※ 設問については一部掲載しています。